

届出記入例 兼 自己点検チェックリスト

様式第6（第八条関係）

除害施設設置（変更）届出書については、別紙1～3が特定施設設置届出書の別紙4～6に該当するため、読み替えて使用してください。

特定施設設置届出書

チェック①

〇〇年〇〇月〇〇日

岐阜市水道事業及び下水道事業管理者

届出は、工事着手の60日前までに

個人の場合は、屋号を含め記入

住 所

岐阜市〇〇町〇〇番地

申請者 氏名又は名称及び

株〇〇〇

法人にあつてはそ

代表取締役 〇〇太郎

の代表者の氏名

電話番号

058-〇〇〇-〇〇〇〇

チェック①

下水道法第12条の3第1項の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株〇〇〇 岐阜営業所	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	岐阜市〇〇町〇〇番地	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	71 自動式車両洗淨施設	※チェック③	
△ 特定施設の構造	別紙2のとおり。	※審査結果	
△ 特定施設の使用の方法	別紙3のとおり。	※備考	
△ 汚水の処理の方法	別紙4のとおり。		
△ 下水の量及び水質	別紙5のとおり。		
△ 用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		

備考 1 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面・表等を利用すること。

2 ※印の欄には、記載しないこと。

- ①様式が合っている（特定施設⇒下水道法、除害施設⇒岐阜市下水道条例）
（施設の新設⇒設置届、既存施設の変更・増設・入替⇒変更届）
- ②既存の届出の有無を確認する。有の場合、申請者・事業場名称等の記載に不整合がない。
- ③特定施設の種類の、水質汚濁防止法別表第一及びダイオキシン類対策特別措置法別表第二に掲げる号番号及び名称を記載する（「事業場排水と下水道」P21～26参照）。

2 特定施設の構造

変更届の場合、左右に変更前と後を記載する、取り消し線を使用するなど、変更前後がわかる記載とすること。

2	特定施設の名称	自動洗車機〇〇		
2-イ	型式	(株)〇〇製 G-50型		
	構造	鋼鉄製		必要に応じて、カタログ等仕様のわかる資料を添付すること
	台数	1台		
	主要寸法	幅 3,600mm 高 2,700mm 奥 2,600mm		
	能力	処理能力10台/h 所要時間 5分/台		
	主要装置の配置	別添第 1 図	チェック④ 図	別添第 図
2-ロ	工事着手予定年月日	〇〇年10月1日		
	完成予定年月日	〇〇年11月30日		
	使用開始予定年月日	〇〇年12月1日		
2-ハ	参考事項		チェック⑤	

④ 特定施設が複数の機械・装置から成る場合、主要機械・装置の配置がわかる図面の添付がある（単独の場合、設置場所と同じ図面でOK）。

⑤ 飲食店や病院のように面積や病床数の規模要件がある場合、その規模を参考事項に記載する。

3 特定施設の使用方法

3-イ	設置場所	別添第 1 図	チェック⑥	図	別添第	図	
3-ロ	操業の系統	別添第 2 図	チェック⑦	図	別添第	図	
3-ハ	使用時間の間隔	随時					
	1日の使用時間	3時間					
	季節的変動	無し					
3-ニ	原材料の種類	洗剤・ワックス	チェック⑧				
	使用の方法	希釈し噴霧					
	1日の使用量	洗剤 0.15 L/日 ワックス0.4 L/日					
3-ホ	通	水量 m ³ /日	2.0				
		水	pH	7.0	チェック⑨		
	BOD		30 mg/l				
	COD		25 mg/l				
	SS		35 mg/l				
	n-ヘキサン		20 mg/l				
	大	最	水量 m ³ /日	3.0			
			水	pH	7.0		
		BOD		35 mg/l			
		COD		30 mg/l			
SS		40 mg/l					
質	n-ヘキサン	25 mg/l					
3-ヘ	参考事項		チェック⑩				

- ⑥特定施設の設置場所がわかる図面がある。複数特定施設がある場合、番号等で区別できる。
 ⑦操業の系統（作業工程及び工程ごとにどのような排水が発生するか）がわかる書類がある。
 ⑧原材料の種類が商品名等の場合、SDS等の成分がわかる書類がある。
 ⑨水質に記載した項目に不足がない。作業工程、原材料等から該当する項目を判断する。
 ⑩参考事項（廃液は全量回収、1日の最後に槽洗浄工程実施等）がある場合、記載する。

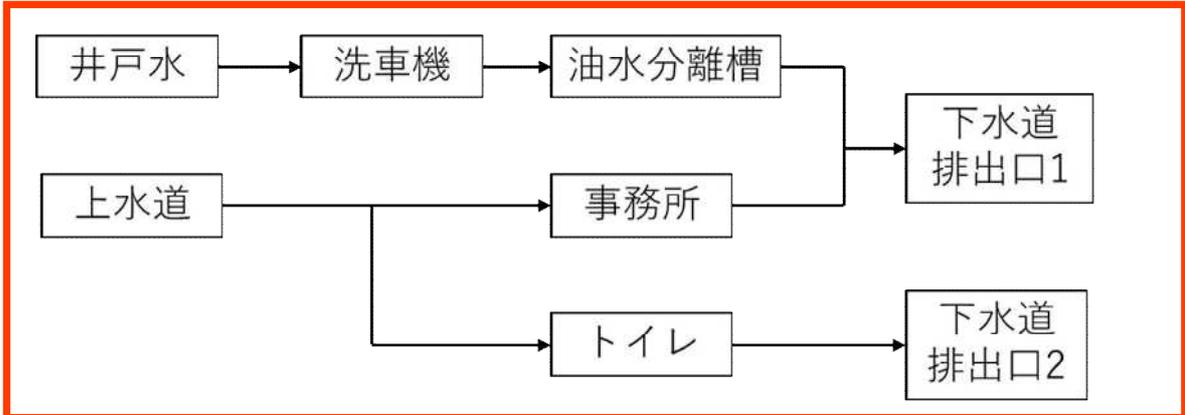
4 汚水の処理の方法

4	汚水処理施設	油水分離槽						
4-イ	設置場所	別添第 1 図					チェック⑪ 図	
4-ロ	工事着手予定年月日	〇〇年10月1日						
	完成予定年月日	〇〇年11月30日						
	使用開始予定年月日	〇〇年12月1日						
4-ハ	型式・台数	4槽式・1台						
	構造	鉄筋コンクリート					寸法のわかる図面を添付すること	
	主要寸法	900×900×1,100(mm)×4槽						
	能力	10.0 m ³ /日					チェック⑬、⑭	
	処理の方法	浮上分離						
4-ニ	処理の系統	別添第 3 図					チェック⑫ 図	
4-ホ	集水および導水方法	自然流下						
4-ヘ	使用時間間隔	連続						
	1日の使用時間	12時間						
	季節的変動	なし						
4-ト	処理に要する消耗材の量	なし						
4-チ	通	水量 m ³ /日	2.0				他に流入する水がない場合は3-ホの水量と同じ量	
		水質	pH	BOD	COD	SS		n-ヘキサン
	常	処理前	7.0	30mg/l	25mg/l	35mg/l	20mg/l	
		処理後	7.0	18mg/l	15mg/l	10mg/l	2mg/l	
		最大	水量 m ³ /日	3.0				チェック⑬
	大	水質	pH	BOD	COD	SS	n-ヘキサン	
		処理前	7.0	35mg/l	30mg/l	40mg/l	25mg/l	
処理後		7.0	20mg/l	18mg/l	15mg/l	3mg/l		
4-リ	残査の種類と1カ月の量	廃油5kg、土砂15kg						
	残査の処理方法	産業廃棄物処理業者に委託						
4-ヌ	公共下水道への排除方法	自然流下					チェック⑮	

- 4-① ①汚水処理施設の設置場所がわかる図面がある。
 ②汚水処理施設による排水処理の系統・工程がわかる書類がある。
 (注) ③水量に対して汚水処理施設の能力が十分である（最大の水量が処理可能）。
 ④汚水処理施設の能力の根拠資料の添付がある（仕様書・設計計算書など）。
 ⑤施設によらない処理方法（バケツで中和等）の場合、参考事項へ記載する。

6 用水及び排水の系統

用水排水系統図



チェック⑩

- ⑩用水排水の系統がわかる図の記載又は別図の添付がある。
 ⑪用途別水使用量の合計と水源別取水量の合計が一致する。

ボイラー用水＝ボイラーで使用する水
 原料用水＝飲料品などの製品となる水
 冷却用水＝設備・原料・製品など冷却用の水
 温調用水＝建屋内の温度・湿度調整用の水
 製品処理洗浄用水＝特定施設等の事業系で使用する水
 その他＝事務所・トイレ等で使用する水

チェック⑪

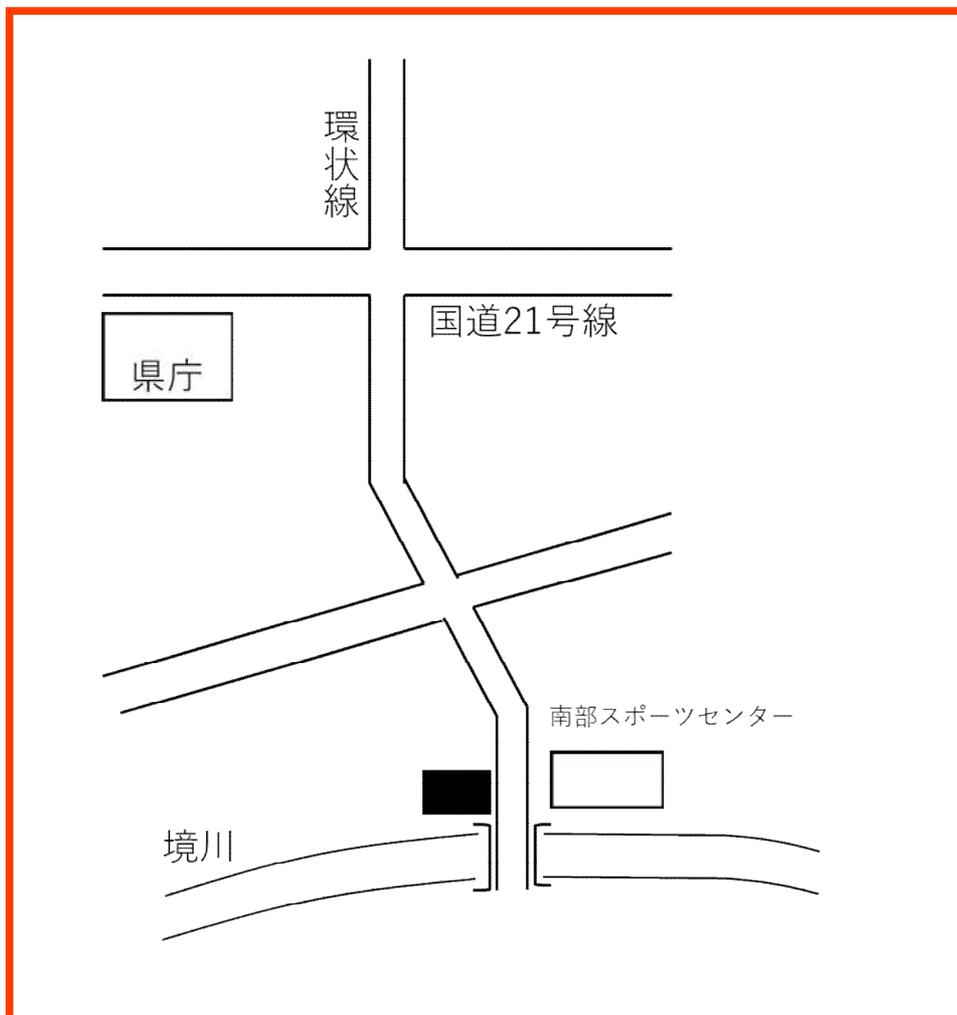
用途別 水使用量	用 途	使用量 m ³ /日	用 途	使用量 m ³ /日
	ボイラー用水		冷却用水	
	原料用水		温調用水	
	製品処理洗浄用水	2.0	その他	1.5
水源別取水量	水 源	取水量 m ³ /日	水 源	取水量 m ³ /日
	工業用水道		伏流水	
	上水道	1.5	井戸水	2.0
	地表水		その他	

参考事項

資本金	10,000,000 円	従業員数	20 人
主要製品	ガソリン	作業時間	8 時～ 20 時
敷地面積	1,000 m ²	建物面積	100 m ²
担当部課係電話	058-〇〇〇-〇〇〇〇	担当者	〇〇 〇〇

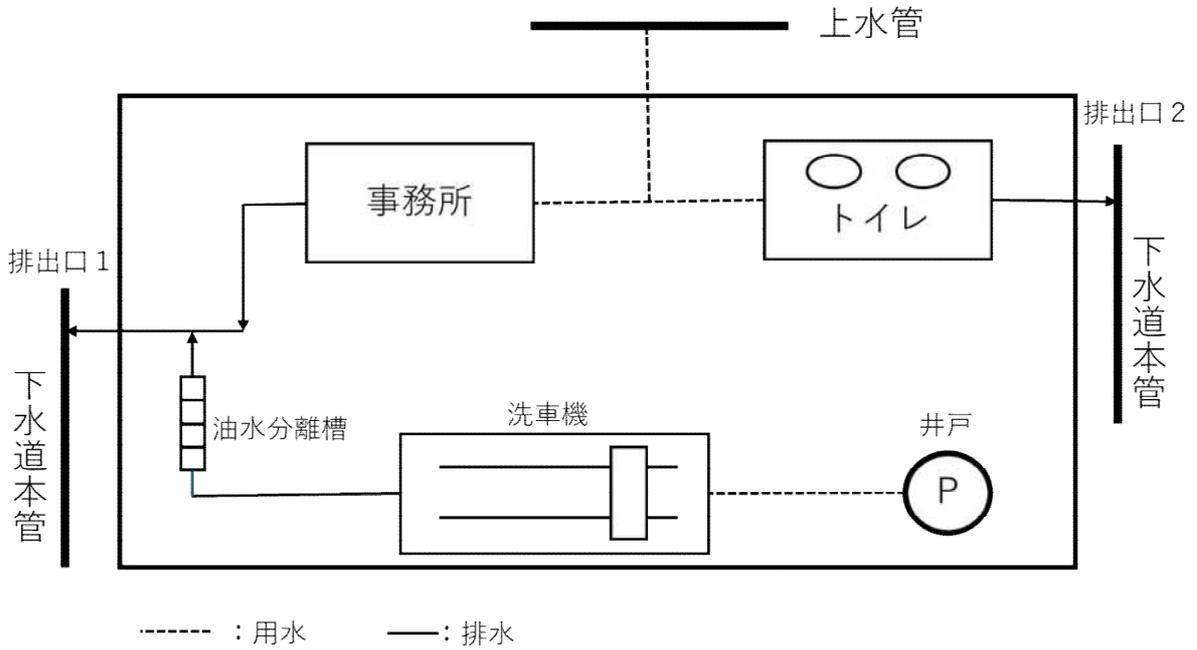
付近見取図（案内図）

チェック②



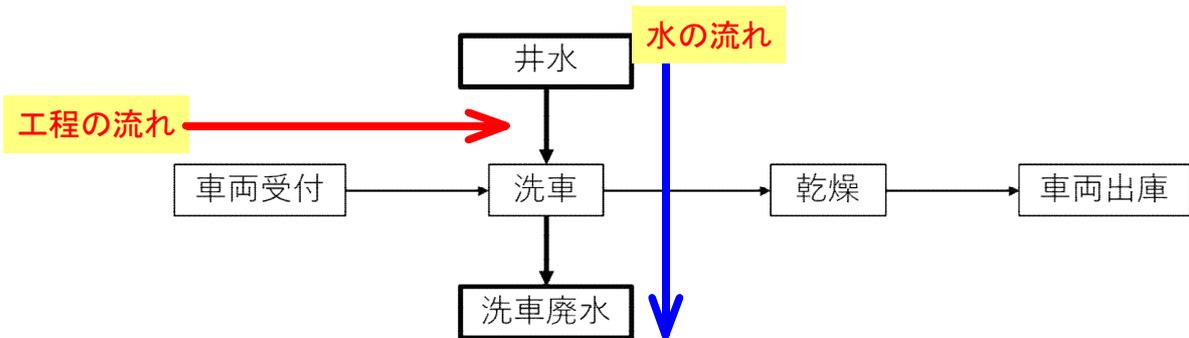
②付近見取図（案内図）の記載がある。

配置図 (別添第1図) チェック②③



通常、下水道本管への接続は1箇所であるが、例外的に複数となることもあるので、本記載例では2箇所接続としている。

操業の系統 (別添第2図)



②③別紙に記載の図番と添付書類の図番が合っている
(配置図内に特定施設及び汚水処理施設の設置場所を記載するなど書類の共通化はOK)。

処理の系統（別添第3図）

